山口県家畜人工授精師会東部支部第２回研修会を開催

柳井農林事務所
平成23年２月３日

家畜人工授精師会東部支部第２回研修会が１月31日に開催され、今回は久しぶりに県外の農場を視察しました。

西部支部との合同研修会で、合わせて21名の参加がありました。視察先の松野牧場は福岡県直方市にある乳肉複合経営の牧場です。経営の特徴として、遠賀川の河川敷を利用しての粗飼料生産で、必要粗飼料のほぼ100%を自給で賄っています。

搾乳牛舎のカウコンフォートの向上にも力を入れている牧場で、夏場の受胎率や乳量の改善につながる牛舎の改善箇所等を教えてもらいました。

牧場主が獣医師ということもあり、見せられるものは全部見せたいという心意気に呼応してか、会員からも活発に質問がありました。

２時間弱という短い時間の中で、飼養管理方法等たくさんのことが学べたのではないかと思われます。今後の授精業務や農家指導に大いに役立つことでしょう。

繁殖牛舎の前での研修風景

飼料タンクを使ったカーフハッチ